



浦安市教育大綱

目標1 「未来に向かって夢を持ち、豊かに生きる浦安っ子」を育てます

目標2 「自ら学び ともに高め合い 地域に生きる 生涯学習」の実現を推進します

カリキュラム、交流で育む 幼・保・小・中連携教育

●浦安市幼・保・小連携 アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム

就学前教育から小学校教育へのなめらかな接続を図るため、各園では「アプローチカリキュラム」を、各小学校では「スタートカリキュラム」を作成しています。

幼児期に育まれた資質・能力を踏まえた教育活動を小学校で計画し、子どもたちが主体的に学びに向かうことができるようにしています。

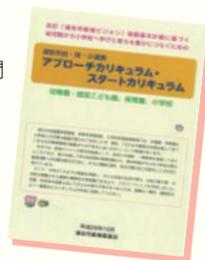
▶アプローチカリキュラムとは

小学校入学を間近に控えた5歳児の10月から3月の間の教育・保育カリキュラムです。

「遊び」を通して「やりたい、伝えたい」という気持ちが高まるような教育・保育の工夫をしていきます。

▶スタートカリキュラムとは

小学校1年生の4月～5月の教育活動実践カリキュラムです。新入生でも「ゼロからのスタートではない」ことを重視し、幼児期の経験を生かしたカリキュラムを編成していきます。



●「浦安市子ども作品展」「子どもアートギャラリー」「浦安市小・中学校音楽会」

作品展やアートギャラリーでは、園児児童生徒の作品を同じ会場に展示することで成長段階を感じることができ、小・中学校音楽会では、小学生と中学生がお互いに演奏し、聴き合う機会としています。

お互いの作品を鑑賞したり、音楽の演奏を聴き合ったりすることで、上級生への憧れや進学への期待を高めたり、上級生として自己の成長を感じたりして優しさや自己肯定感が育まれています。



特別支援教育の充実

●東小学校の「はるかぜ」が仲間入り!

2019年4月、東小学校に特別支援学級「はるかぜ」が開設され、市内の小学校では17校中12校で特別支援学級が設置となりました。中学校には、特別支援学級がすべての市立中学校に設置されています。特別な教育的支援を必要とする児童生徒が、より身近な場所で、適切な指導や支援が受けられるように、残りの小学校5校についても、今後、特別支援学級の設置を進めていきます。

●まなびサポートによる一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援

特別な教育的支援を必要とする子どもたちが、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服し、より豊かな園・学校生活を実現することができるよう、まなびサポートチームによる指導及び支援を行います。

まなびサポートチームとは

指導主事、公認心理士※、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、特別支援教育指導員、医師や学識経験者(スーパーバイザー)等を加えたメンバーで構成する特別支援教育の指導及び支援、環境を整えるチームです。 ※公認心理士…国家資格を取得した心理士

新学習指導要領 全面実施に向けて

新学習指導要領による教育が小学校では2020年度から、中学校では2021年度から、それぞれ全面実施となります。新学習指導要領で示されている学び方である「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、それぞれの教科において学びの充実を図っています。

道徳教育「考え、議論する道徳」

小学校では、昨年度から検定教科書を使用した学習が始まっています。加えて今年度より、中学校で「特別の教科 道徳」が全面実施となります。検定教科書を使用した学習がスタートし、友達との対話を通して様々な考え方や感じ方に触れたり、深く考えたりすることを重視した「考え、議論する道徳」を進めていきます。



中学校「特別の教科 道徳」の教科書

「考えを深め、広げる」学習

ホワイトボードを活用して、話し合いの内容を目に見えるようにしながら、互いの考えを理解したり、比較したりする学習を進めています。試行錯誤しながら課題に対する考えを出し合う中で、自らの考えを深め、広げていきます。



中学校での国語の授業(入船中)

英語教育の充実

小学校では、昨年度から新学習指導要領に対応した外国語活動が始まりました。3～6年生は、文部科学省作成の移行期間中用の新教材を使用して学習をします。1、2年生については、これまでのように浦安市独自のプログラムで学習を進めていきます。

学年	時間数	平成30・31年度
1・2年生	14時間	浦安市外国語活動学習活動プログラム
3年生	35時間	Let's Try!①
4年生	35時間	Let's Try!②
5年生	70時間	We Can!①
6年生	70時間	We Can!②



理科教育推進教員の配置(小学校)

市内の全小学校へ理科教育推進教員を配置し、観察・実験等の学習を充実させ、わかる授業を展開していきます。



昨年度の理科教育推進教員研修会の中で、5年生単元「もののとけ方」の導入場面で活用できる教材を製作しました。出来上がった教材は市内の小学校に貸し出し、子ども達の学習の理解が深まっています。

児童の感想

- 食塩や砂糖のとける様子をじっくり見ることができてよかったです。
- 食塩の粒がどのようにとけるのか、目はなせませんでした。
- 少しずつ粒が小さくなっていく様子がきれいでした。

情報教育 ICT機器を活用し、質の高い授業を実現

児童生徒の学習への興味・関心を高め、授業での「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、各教科等の指導におけるICTの効果的な活用を推進します。



プログラミングを活用した音楽の学習(高洲北小)

例えば、児童生徒が基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるように学習アプリケーションを利用し、一人一人の習熟の程度や発達の段階等に応じた個別学習を行える環境を整備します。また、多くの情報を収集し、その情報の中から課題の解決に必要な情報を取捨選択する過程の中で思考力・判断力・表現力等を育みます。



タブレット端末を活用した調べ学習(入船小)